

# 23年度 めぐるエコプランの取り組み結果と評価をお知らせします

区では、区の事務事業を行うすべての施設を対象とした「目黒区地球温暖化対策推進実行計画」（略称「めぐるエコプラン」）を21年4月に策定しました。期間は21年度から25年度までの5年間です。温室効果ガスの排出量（二酸化炭素換算）を、17年度を基準として、25年度（目標年度）において6%以上削減することを目標としています。

23年度の主な取り組み内容（～）と区民と学識経験者からなる評価委員会が評価した、主な評価結果（A～E）についてお知らせします。

今後も引き続き環境負荷の低減に努めていきます。

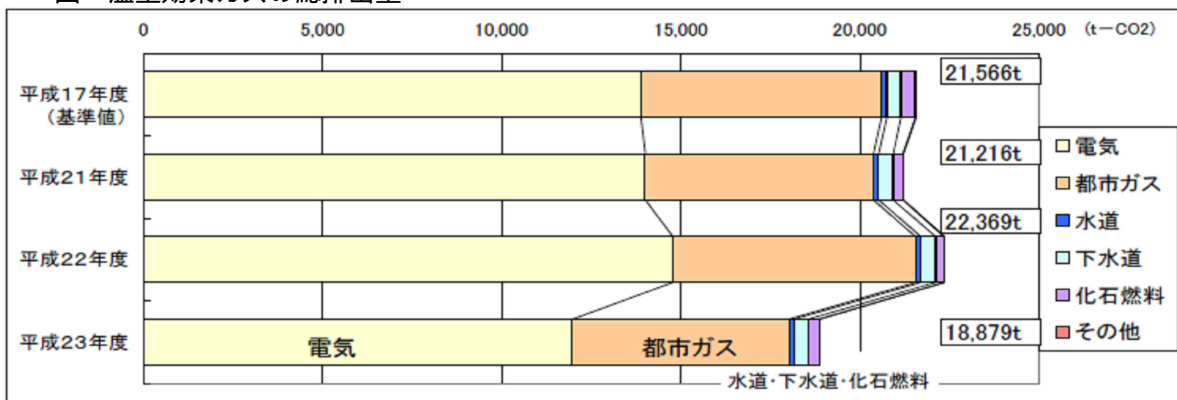
## 取り組み内容

施設における省エネルギー活動の推進  
 省エネルギー・新エネルギー機器の段階的導入  
 施設の新築・改築・改修時における省エネルギー・新エネルギー設備の導入(表1)  
 低燃費車の導入（清掃車1台を購入しました）  
 温室効果ガス吸収作用の保全・創出(表2)  
 日常業務でのエコオフィス活動（省エネ・省資源活動）の推進(表3～5)

## A 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減

節電対策に取り組んだことにより、平成17年度（基準値）と比較して12.5%の減少となりました。

図 温室効果ガスの総排出量



### 評価委員会による評価

施設の利用制限を含めた節電の取り組みの結果、大幅に削減することができた。利用制限をしない節電の取り組みを継続し、エネルギー使用量の削減に努める必要がある。

## B 温室効果ガス削減に向けた取り組み

表1 施設の新築・大規模改修における省エネルギー・新エネルギー機器の導入

施設名	導入した省エネルギー・新エネルギー機器
烏森住区センター	Hf型蛍光灯、電球型蛍光灯、人感センサー、高輝度誘導灯、高効率エアコン上位機種（トップランナーエアコン）、全熱交換器など
目黒本町二丁目複合施設（第二ひもんや保育園）	太陽光発電、Hf型蛍光灯、電球型蛍光灯、人感センサー、高輝度誘導灯、高輝度放電ランプ、高効率エアコン上位機種（トップランナーエアコン）、全熱交換器、節水器具、高効率給湯器など
南保育園	Hf型蛍光灯、電球型蛍光灯、人感センサー、高輝度誘導灯、高輝度放電ランプ、高効率エアコン上位機種（トップランナーエアコン）、全熱交換器、節水器具、高効率給湯器など
中央町保育園	太陽光発電、Hf型蛍光灯、電球型蛍光灯、人感センサー、高輝度誘導灯、高輝度放電ランプ、高効率エアコン上位機種（トップランナーエアコン）、全熱交換器、節水器具、高効率給湯器など

### 評価委員会による評価

導入した省エネルギー機器の台数等の数値化と、新エネルギー機器の導入も引き続き推進してほしい。周知・啓発は継続することが大事である。情報提供のツールについては、最新の手法も検討してほしい。

## C 温室効果ガス吸収作用の保全・創出

表2 緑化の推進（施設の新築、改築等にかかる主なもの）

施設名	緑化形式	緑化面積
中央町保育園	屋上緑化	71 m <sup>2</sup>
	樹木・草地緑化	36 m <sup>2</sup>
目黒本町二丁目複合施設 （第二ひもんや保育園）	樹木・草地緑化	222 m <sup>2</sup>
	壁面緑化	70 m <sup>2</sup>
南保育園	樹木・草地緑化	217 m <sup>2</sup>
中根小学校内学童保育クラブ	屋上緑化	120 m <sup>2</sup>
	樹木・草地緑化	856 m <sup>2</sup>
五本木児童遊園	樹木・草地緑化	114 m <sup>2</sup>
蛇崩川緑道	樹木・草地緑化	140 m <sup>2</sup>
合 計		1,846 m <sup>2</sup>

### 評価委員会による評価

新築・改築だけでなく、既存の施設にも緑化の推進や緑化の事例を提供することが必要である。

## D 環境負荷の低減に向けた取組み

表3 ごみの排出量

項目	21年度	22年度	23年度	対前年度比
燃やすごみ	836t	931t	1,031t	+11%
燃やさないごみ	132t	144t	149t	+3%
資源	39t	34t	38t	+12%
合計	1,007t	1,108t	1,218t	+10%

### 評価委員会による評価

ごみの排出量については、周知を図るとともに、生ごみの堆肥化について検討してほしい。紙の使用量については、一層の削減努力を要望する。

表4 紙の使用量（A4サイズ換算）

項目	21年度	22年度	23年度	対前年度比
用紙の購入量	4,750万枚	4,197万枚	4,517万枚	+8%
外注印刷物	5,799万枚	5,167万枚	5,267万枚	+2%

「ごみの排出量」と「紙の使用量」は、21年度から25年度までの実行計画の計画期間において、毎年の量を前年度以下に減らしていきます。

表5 グリーン購入品目数（環境に配慮した製品の購入）

項目	21年度	22年度	23年度	対前年度比
品目数	259	283	295	+12品目

環境に配慮した製品の購入を推進していきます。

## E 運用・推進・評価体制

### 評価委員会による評価

推進会議と専門部会の運用体制についても連携が図られている。職務に応じた取組みを通じて、職員の環境意識の継続的保持に努めてほしい。

### 評価委員会による全体評価

昨年度に比べて良く工夫して取組み、進歩があった。今後も節電の取組みを継続して、温室効果ガス排出量の削減目標に向けて推進してほしい。